

声

業界の

● 山梨県水晶宝飾協同組合

理事長 近藤 誠氏



「山梨県水晶宝飾協同組合」について

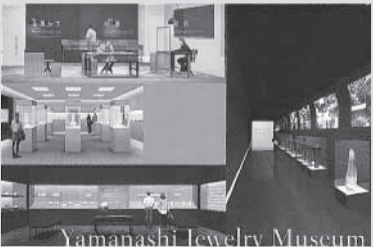
私どもは昨年12月、本県宝飾関連の4組合統合のため、中央会の支援を受け、(協)山梨県ジュエリー協会と山梨県宝石研磨工業(協)が合併し、また山梨県貴金属工芸(協)を統合し、「山梨県水晶宝飾協同組合」となりました。本組合は、近年の景気低迷に対する宝飾業界の更なる活性化、また宝飾関連業者の後継者育成を目的としています。これにより、本県の宝飾関係業界(研磨、彫刻、金属加工、流通)が1つになり、本組合が本県宝飾業界の更なる発展の礎になるものと信じています。

組合での今後の活動について

本組合は、本県宝飾業界が一同に集まった組合として製造から流通での各組合間での調整活動から、宝飾関係業界全体での情報共有と意志決定が可能となりました。これまで業種別に活動していた組合員が、今後は業種の枠を超えて連携し、よりお客様に喜んで頂ける商品開発ができると思います。また、各業種での技術を応用した、新たな技術開発にも力を入れていきます。このことは、宝飾加工技術の伝承、人材育成にも大きな役割を持つと思います。さらに、この商品開発や技術をもって、海外市場にも積極的に進出していきたく考えています。

山梨県の宝飾業界発展のために

本県は「宝飾産業の集積地」として発展してきましたが、このことは県民の方々にあまり知られていないのが現状です。しかし、全国の宝飾製品の約30%は本県業者で製造・流通されており、日本一のシェアを誇っています。このことを県民の方々にも知って頂き、まずは県民の方々が「山梨県は宝飾の街」というイメージを持てるよう、積極的にPRしていきたいと思っています。また、本年9月には山梨県防災新館内に「山梨ジュエリーミュージアム」が開設されます。この開設を契機に、県外の方々にも、本県宝飾産業を積極的にPRしていきたいとも考えています。



山梨ジュエリーミュージアム(完成イメージ)